

多摩川は今

2016年度
川崎市多摩川プラン
実施事業報告書



2016年度
川崎市多摩川プラン
実施事業報告書



川崎市



目次

I. 自然と調和した美しい多摩川へ

- ① 多摩川美化活動 1ページ
- ② 自然環境に配慮した水辺空間づくり 1ページ

II. 多摩川を知り 災害から市民を守る

- ③ 治水事業による治水安全度の向上 2ページ
- ④ 水辺の安全事業 3ページ

III. 子どもの生きる力を育む場を創造

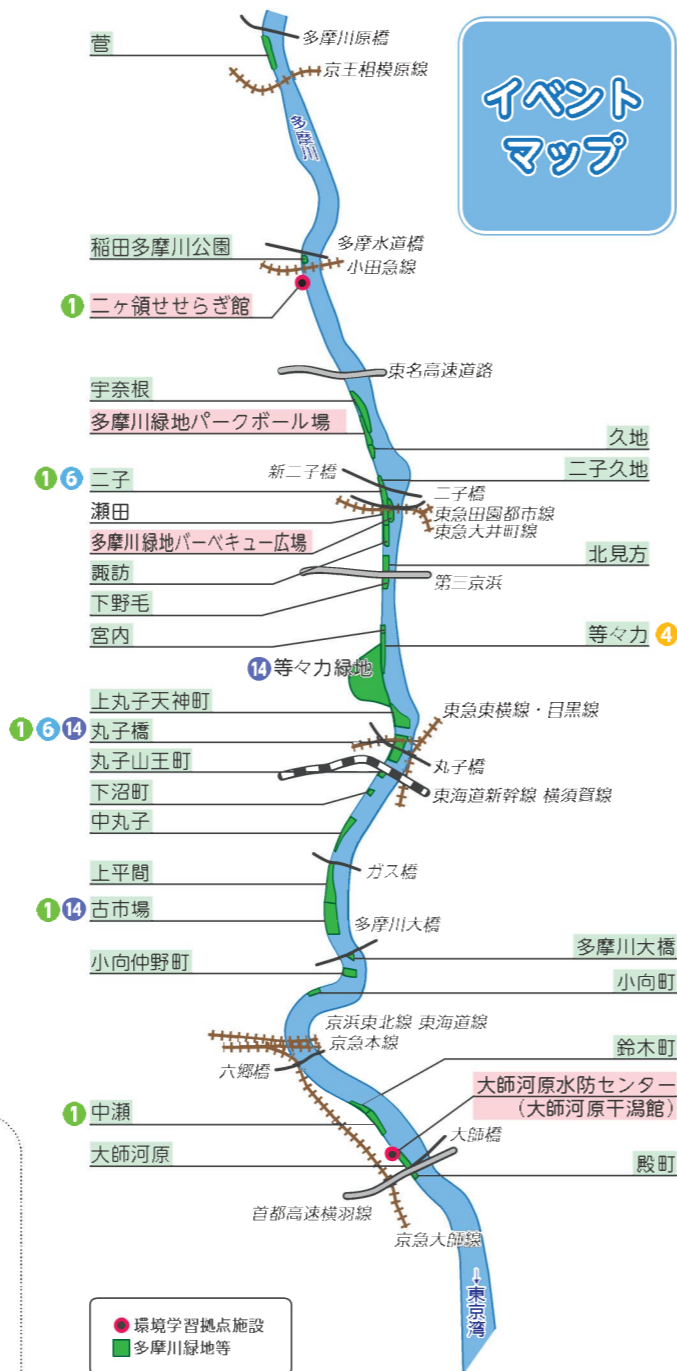
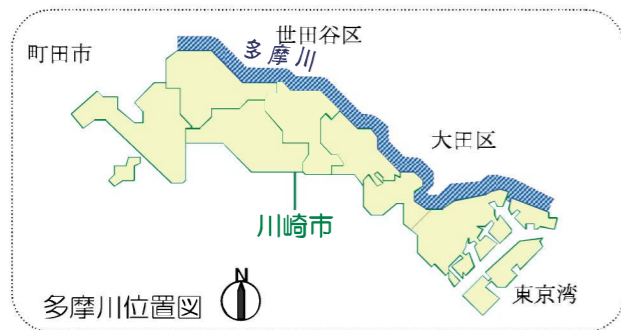
- ⑤ 多摩川スピードウェイ跡地の保存 4ページ
- ⑥ 「渡しの復活」事業 5ページ

IV. 多摩川とともに歩む みんなの暮らし

- ⑦ 駐車場施設の拡充 6ページ
- ⑧ 施設の再配置・再整備 6ページ
- ⑨ サイクリングコースの整備 7ページ
- ⑩ 簡易水洗トイレや休息施設の充実 7ページ
- ⑪ 多摩川緑地バーベキュー広場 8ページ
- ⑫ 丸子橋バーベキュー対策 8ページ

V. つながりをも深めて魅力的な流域へ

- ⑬ 多摩川流域セミナー 9ページ
- ⑭ スポーツ大会等の開催 10ページ
- ⑮ 拠点施設を活かした情報発信 11ページ



I. 自然と調和した美しい多摩川へ

① 多摩川美化活動

母なる川多摩川を「きれいに」「よごさない」「親しまれる川」とするために毎年6月の第1日曜日に多摩川河川敷で市民参加による清掃活動を行っています。

○第38回(平成28年度)多摩川美化活動 (主催:川崎市市民文化局市民活動推進課)

- 1 実施日
平成28年6月5日(日)
- 2 集合場所
多摩区・麻生区…ニヶ領宿河原堰付近河川敷(中央会場)
高津区・宮前区…新二子橋付近河川敷
中原区…丸子橋付近河川敷
幸区…古市場陸上競技場付近河川敷
川崎区…中瀬河川敷



- 3 参加人数
161団体…12,018人
- 4 ごみの量
ふつうゴミ …… 2.91 t
空きカン …… 0.31 t
空きビン …… 0.05 t
計3.27 t



② 自然環境に配慮した水辺空間づくり

多摩川らしい豊かな自然環境を保全、回復するため、ワンド等の整備や生き物の生息地や繁殖地となる瀬、淵、河原などの確保に努めています。

国土交通省が多摩区堰一丁目地先において、湧水を活かした低水護岸を整備しています。上流側は平成28年5月に完成し、徐々に草本が生え植生が回復しつつあります。



現在の様子(H29.2撮影)



将来イメージ

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川とともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

Ⅱ.多摩川を知り 災害から市民を守る

③治水事業による治水安全度の向上

近年、気候変動などに起因する局地的集中豪雨や台風の大型化による洪水が全国的に発生し、多くの被害をもたらしています。多摩川流域においても、市民の命と財産を守るため、更なる治水安全度の向上を図る必要があります。

国土交通省による堤防・護岸整備が実施されています。



- ①川崎区殿町地先：高潮堤防工事
- ②川崎区鈴木町地先：高潮堤防工事
- ③川崎区港町地先：低水護岸工事
- ④幸区小向地先：堤防天端舗装工事
- ⑤中原区上丸子地先：築堤工事
- ⑥多摩区堰一丁目：低水護岸工事

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

④水辺の安全事業

一旦事故が起こると、命に関わる重大事故となる可能性が高いのが、水難事故の特徴です。水辺で安全に楽しく遊ぶため、川の危険箇所などの知識や身を守る方法を学習する場として、川流れ体験を行っています。

○川の安全教室(主催:とどろき水辺の楽校)

- 1 開催日
平成28年10月2日(日) (荒天により、9月22日から変更)
- 2 場所
中原区 等々力周辺河川敷
- 3 参加人数
約30名

ライフジャケットの着用方法、川で流されてしまった時の受身の姿勢や、救助方法を体験しながら、楽しく学びました。

また、多摩川源流域の奥多摩で、川流れ体験を平成28年8月7、8日に開催しました。



自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

Ⅲ.子どもの生きる力を育む場の創造

⑤多摩川スピードウェイ跡地の保存

日本初の常設サーキットの跡地であり、戦前の観客席が現存する世界的にも稀な例でもある、多摩川スピードウェイ跡地の保存に向けた取組を行っています。

○記念プレート除幕式

開催日
平成28年5月29日(日)

場所
中原区 丸子橋周辺の河川敷

多摩川スピードウェイ跡地に記念プレートを設置し、その歴史を後世へと伝えていきます。



設置された記念プレート

○開設80周年記念展

開催日
平成28年7月17日(水)～31日(日)

場所
川崎市市民ミュージアム

開設80周年を記念して記念展を開催し、期間中約2,000人が来場しました。



画像提供:多摩川スピードウェイの会

また、平成28年10月30日(日)に大田区・川崎市連携事業「おたかわウォーク」(2回開催)において、なかはら散策ガイドの会が多摩川スピードウェイ跡地を案内し、その歴史などを説明しました。



自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

⑥「渡し」の復活」事業

人の往来や作物の運搬のため多摩川には数多くの渡し場があり、その流域は一体の文化圏となっていました。市内には約20箇所に渡し場があったとされ、その文化・歴史を後世に伝えるとともに、地域や対岸との交流の場として、「渡し」の復活を行っています。

○丸子の渡し祭り(主催:丸子の渡し復活協議会)

- 1 開催日
平成28年10月30日(日)
- 2 場所
中原区 丸子橋周辺の河川敷
- 3 来場者数
約1,500名
渡し舟には、980名が乗船しました!



○二子の渡し体験(主催:高津区地域振興課)

- 1 開催日
平成28年11月3日(木・祝)
- 2 場所
高津区 二子橋周辺の河川敷
- 3 来場者数
約850名
渡し舟には、294名が乗船しました!



どちらのイベントでも
多摩川の鮎が
振舞われました!

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

IV.多摩川とともに歩む みんなの暮らし

⑦ 駐車場施設の拡充

多摩川へのアクセス向上を図る取組として、階段や坂路の整備、駐車場施設の拡充を進めています。

今年度は、多摩川緑地瀬田駐車場の拡張整備を行いました。周辺に多くの施設があり、繁忙期の朝から満車となってしまう状況を改善するため、駐車台数を60台増やし、収容台数225台にしました。また、身障者用駐車スペースも5台整備しました。



瀬田駐車場

⑧ 施設の再配置・再整備

運動施設利用における市民ニーズの変化に対応するため、既存施設の最適化を行っています。

今年度は、等々力・丸子橋地区周辺エリア第7期整備工事を実施し、主に上丸子天神町第1～4球場、上丸子天神町野球広場を改修しました。

この整備により、平成20年度から進めてきた等々力・丸子橋地区周辺の整備が完了となりました。



⑨ サイクリングコースの整備

平日には通勤・通学路、休日にはサイクリングと、たくさんの人に利用されているサイクリングコースを、さらに便利に、安全に利用してもらうため、延伸や拡幅、路面表示の整備を実施しています。

○延伸整備

今年度は、東京都稲城市との接続に向け、多摩区菅野戸呂地区の未舗装区間約210mに舗装を行いました。これで残り約1,000mとなり、平成30年度の接続完了を目標に整備を進めています。

○拡幅整備

今年度は、高津区諏訪・北見方地区の約160m区間で、幅員2mから3mに拡幅整備を実施しました。今後も、狭隘区間の拡幅を順次進めていきます。

○路面表示

今年度は、多摩区・高津区の9箇所に、「歩行者に注意」「ゆっくり走ろう」等の注意喚起の路面表示や、階段や坂路等、人の出入りがある箇所にカラー舗装を行いました。



路面表示の例



カラー舗装の例

⑩ 簡易水洗トイレや休息施設の充実

誰もが快適に利用できる多摩川を目指し、簡易水洗トイレの整備やベンチなど休息施設の充実に向けた整備を実施しています。

○簡易水洗トイレの整備

現在配置されている汲取り式トイレを簡易水洗トイレに更新しています。今年度は、上平間地区、古市場地区に1基ずつ簡易水洗トイレを整備しました。

○ベンチ等休憩施設の整備

今年度、丸子橋第1広場横のゲートボール場にベンチを3基設置しました。



汲取り式
トイレから



簡易水洗
トイレに!!

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川とともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川とともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

⑩多摩川緑地バーベキュー広場

多摩川緑地バーベキュー広場は、指定管理者による施設の適正管理のもと、施設周辺の迷惑行為防止にも努めています。また、地元貢献イベントを開催するなど、地元への還元にも取り組んでいます。

昨年度は、おいしいお肉の見分け方やおいしい焼き方について、地元商店街のお肉屋さんがレクチャーするバーベキュー教室を開催しました。

今年度はバーベキュー場にて、親子で楽しめる、そして学べる「寺子屋」を開催しました。



○寺子屋

開催日

平成29年2月26日(日)

場所

高津区瀬田
多摩川緑地バーベキュー広場

参加者数

子ども39名、大人35名 計74名

内容

フリスビーや、カポエイラで大人も子どもも元気よく体を動かしました。



⑫丸子橋バーベキュー対策

丸子橋地区には瀬田地区のようなバーベキュー広場はありませんが、バーベキュー利用者が多く訪れ、ゴミの投棄や騒音などの問題が発生しています。

バーベキュー利用者によるゴミは、河川敷のみならず、周辺市街地のゴミ集積所などにも不法投棄されています。

今年度、その対策として不法投棄に注意を促す看板を作成し、丸子橋周辺のゴミ集積所に設置しました。



自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

V.つながりを深めて魅力的な流域へ

⑬多摩川流域セミナー

国土交通省、流域自治体、企業、市民団体や学識者などで構成される多摩川流域懇談会主催により、多摩川の治水や利水、自然環境、歴史などを学ぶセミナーや、まると多摩川まつりを開催しています。

○第46回多摩川流域セミナー(第4回まると多摩川まつり)

1 開催日

平成28年9月18日(日)

2 場所

東京都世田谷区二子玉川周辺
(セミナーは二子玉川ライズオフィス棟8F、東京都市大学二子玉川夢キャンパス)

3 参加者数

約60名(まると多摩川まつり全体は約200名)

4 内容

第46回セミナーは「二子玉川発! 多摩川とつながるまちづくり」をテーマに、学識者の講演、二子玉川で活動する市民団体の発表、パネルディスカッション、子どもたちの夏休みの自由研究の発表、「未来の多摩川夢プラン」づくりを行いました。

また、まると多摩川まつりでは、二子玉川散策や焼き出し訓練などを行いました。



また、平成29年2月5日(日)に府中市で、「府中を歩くと見えてくる! 多摩川が育んできた流域の歴史」をテーマに、第47回多摩川流域セミナーが開催されました。同日、府中市郷土の森博物館で第4回多摩川流域歴史セミナーも開催され、「中世多摩川流域の開発」をテーマに講演が行われました。

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

⑭ スポーツ大会等の開催

市民が親しみ、交流を深める場としての多摩川の魅力発信の一環として、スポーツ大会やイベントを開催しています。

○多摩川カヌー教室(主催:川崎市市民スポーツ室、とどろき水辺の楽校)

開催日
平成28年7月10日(日)
場所
丸子橋付近河川敷
参加者数
145名

カヌーの操作方法や、水上事故に備えた救急法を学びました。



○川崎国際多摩川マラソン(主催:川崎市市民スポーツ室、川崎市スポーツ協会)

開催日
平成28年11月20日(日)
場所
等々力競技場(スタート、ゴール)
コース:多摩沿線道路
多摩川河川敷マラソンコース

参加者数
6,145名

多摩川河川敷のフラットなコースを走る人気のハーフマラソン大会です。今年もたくさんのランナーが参加しました。



○多摩川リバーサイド駅伝 in 川崎(主催:川崎市市民スポーツ室、川崎市スポーツ協会)

開催日
平成29年3月19日(日)
場所
古市場陸上競技場(スタート、ゴール)
コース:多摩川河川敷マラソンコース

参加予定者数
6,296名

子どもから大人まで、誰もが楽しめるイベントです。



⑮ 拠点施設を活かした情報発信

二ヶ領せせらぎ館や大師河原水防センターの拠点施設から、多摩川をより身近に感じてもらうため、市民目線で集めた情報の発信を行っています。

○二ヶ領せせらぎ館

国土交通省が管理する二ヶ領宿河原堰管理事務所の一部を、防災活動、自然環境、歴史や文化の情報発信・環境学習の拠点として、川崎市とNPO法人多摩川エコミュージアムが協働で管理運営する施設です。

所在地:多摩区宿河原1-5-1
TEL:044-900-8386
アクセス:JR南武線・小田急線
登戸駅下車 徒歩10分

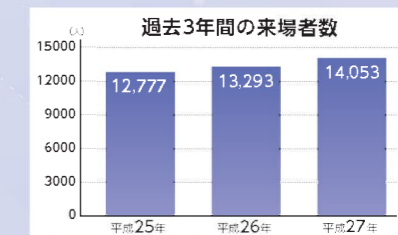
開館日:火~日曜、祝日 10:00~16:00
来場者数:21,160人(H28年12月末)



○大師河原水防センター

国土交通省が管理する大師河原河川防災ステーションの一角にあり、多摩川の洪水時などの防災活動、自然環境、歴史や文化の情報発信・環境学習を行う拠点として、川崎市とNPO法人多摩川干潟ネットワークが協働で管理運営する施設です。

所在地:川崎区大師河原1-1-15
TEL:044-287-7882
アクセス:京急大師線 東門前駅下車 徒歩7分
開館日:水・木・土・日曜、祝日 10:00~16:00
来場者数:9,105人(H28年12月末)



○多摩川の情報誌



多摩川エコミュージアム発行 隔月 多摩川干潟ネットワーク発行 隔月

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

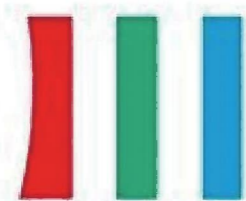
川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

多摩川は今
川崎市新多摩川プラン事業実施報告書
2016年度

発行:2017(平成29)年3月
川崎市多摩川プラン推進会議

事務局:川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課
〒210-0007
川崎市川崎区駅前本町12-1
電話:044(200)2265
FAX:044(200)3979
E-mail:53tamasu@city.kawasaki.jp